

KO 油圧クラッチシステム

K.O Racing

Original parts & repair

メンテナンスマニュアル & パーツリスト

● エア抜きの方法

エア抜きはすべてマスターシリンダーから行います。レリーズシリンダーには他社製のようにエアブリーダーはついていません、必要が無いのと付けたとしても作業しにくいからです。

DOT3 または **DOT4** のブレーキフルードをリザーバータンクに足しながらレバーをストロークさせれば空気はマスターのリターンポートから浮いてきます。根気良く行ってください。ホースに振動を与えると抜きやすいです。

● より軽く操作するために。

タイコ部分やレバーピボットなどにグリスを塗布すると軽くなります。

● 水没した場合

レリーズシリンダーの黒いエンドキャップを外し内部に入った泥水を綿棒などで丁寧にふき取ってください。洗車などで入り込んだ水はエンジンの熱で蒸発します。シリンダー内部も硬質アルマイト処理されていますので4年以上の使用でも水によるトラブルは皆無です。

● メンテナンスに必要なパーツはいつでもストックして有ります。大会などで使用される場合は継ぎ手 ホースなどを予備としてお持ちいただくと安心です。転倒以外の通常使用で破損することは有りません。

● セクション走行中は、クラッチレバーを開放して自動調整を働かせてください。これは世界を走るドギーや藤波選手らもやっていることでもわかりますが、温度変化で多くなってしまった遊びをリザーバータンクから液を送り出す動作をすることで自動調整をさせています。油圧システムではどのタイプでも必要な作業です。

保障修理について、

お買い上げから1年以内に通常使用において、オイル漏れが発生した場合は、無償修理いたします。タイコ位置の設定ミス、ホースに無理な力がかかった場合の継ぎ手からのオイル漏れ、ご自分で分解された場合 サイズが合うからと、ブレーキ油に耐性の無いオーリング使用による修理などは補償の対象になりません。

Koレーシングでは ノーマンテナンスで4年以上同じ状態で使用してもオイル漏れや作動不良などのトラブルは一切発生していません。

オイル漏れで送られてくる物のほとんどは調整不良が原因です。

初めてバイクに装着するときは事前にワイヤーを最も引き出した状態にしてから作業してください。

この油圧システムを付けたら、スパッとつながる様になって、クラッチコントロールがしにくい・・・と言う相談が有りました、このパーツはダイレクト感を目指して開発しましたので、そうなるのが当たり前ですが、4サイクルエンジンの宿命で、アクセル開けはじめの ドンツキ(アクセル開度の初期にトルクがいきなり出る現象)がありますので、油圧のせいでは有りません、スパッとつながらないと、ステアケースで使い物になりません。クラッチワークを練習してください。

雑誌等で紹介された、つながりを緩やかにするリングは装着しないで下さい。排気量アップなどされている場合は、Koレーシングで発売中の強化クラッチスプリング(¥2000)に交換してください。

パーツリスト

- ① タイコ・・・ ¥ 480
 - ② ワイヤー・・・ ¥ 660
 - ③ レリーズホルダー・・・ ¥ 3800
 - ④ レリーズシリンダー・・・ ¥ 6800
 - ⑤ レリーズキャップ・・・ ¥ 1300
 - ⑥ レリーズ 継ぎ手・・・ ¥ 840
 - ⑦ ホース(赤色)..... ¥ 980
保護蛇腹ホース..... ¥ 650
 - ⑧ マスター 継ぎ手・・・ ¥ 1280
 - ⑨ マスター..... ¥ 22600
 - ⑩ レバー..... 時価
- レリーズシリンダーシールキット・・・ ¥ 1880
 - マスターシリンダーシールキット・・・ ¥ 3800
 - シリコングリス・・・ ¥ 100

※ 価格は税別 送料別
価格 仕様は予告無く変更いたします。

ご注文時はパーツナンバーと名称をお知らせください。

注文先
Koレーシング
鹿児島県阿久根市赤瀬川 2993-14
TEL:0996-72-7028
FAX:03-6893-5427



KO 油圧システムで使用しているホースは一般的なステンメッシュホースの **10** 分の一の軽さ、交換が簡単 取り回しが比較的自由などの特徴が有り耐久性も必要にして十分であることは実戦で証明されています。